

セットアップ手順

以下の2種類のアップデートの適用が必要になります。

アップデート名	対象OS
I.クライアントシステム アップデート	Windows 8、8.1、10、11
II.サーバーシステム アップデート	Windows 8、8.1、10、11

1.スタンドアロン環境（データ、マスタも同じP C）

I、IIのアップデートを実行します。

2.クライアントサーバー環境（データ、マスタが異なるP C）

①クライアント環境でのセットアップ

Iのアップデートを実行します。

②サーバー環境でのセットアップ

IIのアップデートを実行します。

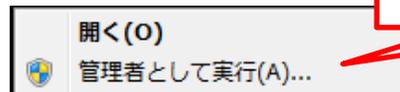
（注意）

- ・インストール時はシステム終了し、クライアントサーバー環境では、誰もログインしていない状態で実行してください。
- ・クライアントサーバー環境で、クライアント側だけインストールし、サーバー側をインストールしていない場合、クライアント側の操作時にエラー発生する場合があります。サーバー側もインストールしてください。

サーバーシステム アップデート

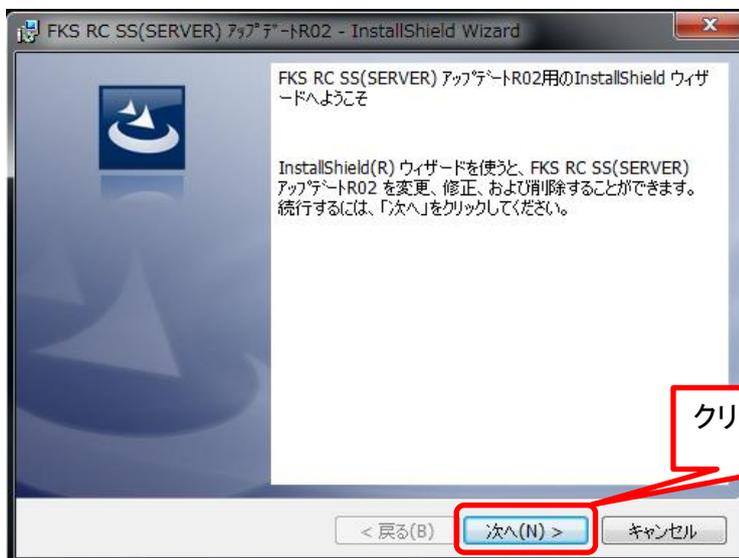
管理者権限のあるユーザーにてインストールしてください。

1. ダウンロードした「RC-SS_SERVER_Update_R35.exe」を「管理者として実行」します。



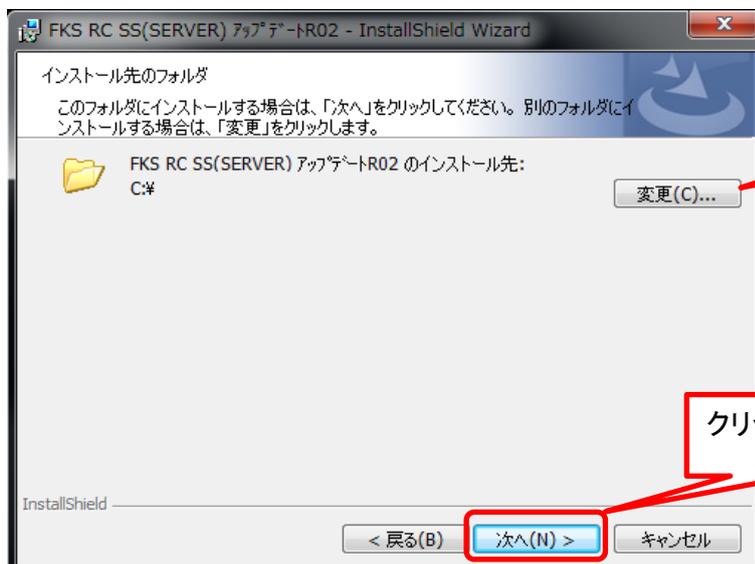
ファイルを選択し、右クリックメニューにて「管理者として実行」を選択します。

2. アップデート画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。



クリックします。

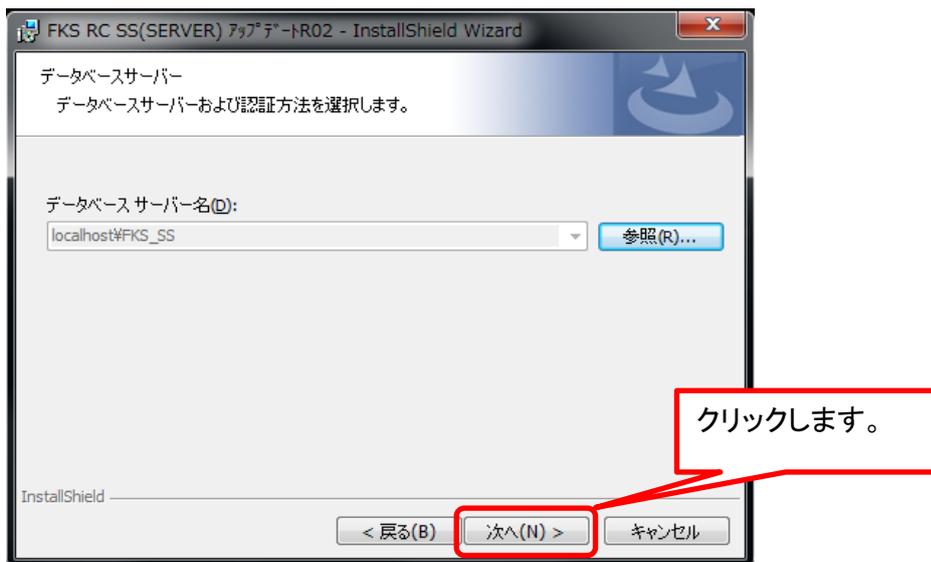
3. インストール先のフォルダ画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。



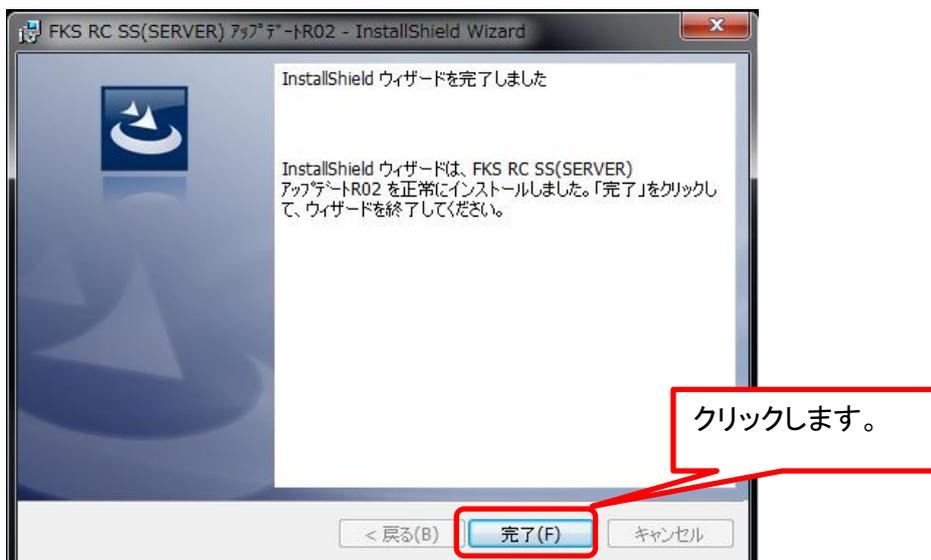
インストールドライブを変更する場合はクリックします。ドライブのみ変更可能です。

クリックします。

4. データベースサーバーの画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。



5. 「インストール」をクリックします。



以上で終了です。

FKS/RC SS ソフトウェア修正情報

NO.	項目	内容	製品リビジョン					
			15-17	28-31	32	33	34	35
97	伏図	建具配置のとき右クリックにて縦横方向の仮図表示ができるようになりました。	○					
98	伏図	雜入力の鉄筋名称セルに全角入力ができるようになりました。	○					
99	伏図	基礎梁のプロパティで「底型枠なし」を選択すると伏図データが取込されない。	○					
100	伏図	礎版リスト数がスラブより多いと、不正要素検索で礎版が表示されてしまう。	○					
101	伏図	3D表示にて、壁高の表示が隣接する床レベルの高さになる場合がある。	○					
102	伏図	回転している柱を階コピーすると、寄り設定とは異なるずれでコピーされてしまう。	○					
103	土工事	土工事印刷の総掘、山留線の色が異なる。	○					
104	土工事	独立基礎のFタイプの形状の時、捨てコンの数量計算が正しくない。	○					
105	その他	バージョン情報の画面に、クライアントのバージョンとサーバーのバージョンをそれぞれ表示するようにしました。	○					
106	その他	FAQにリンクボタンを追加しました。 物件一覧画面のオプションタブ内と物件処理メニューの表示切替後のオプションタブ内	○					
107	外部入出力	ST-BRIDGE入力で、基礎のXY方向が逆で伏図に取り込まれてしまう。	○					
108	外部入出力	ST-BRIDGE入力で、柱フープの中子本数がタイプA-Q以外の時、XY逆で取り込まれてしまう。	○					
109	外部入出力	ST-BRIDGE入力で、基礎柱 (StbFoundationColumn) の定義に対応しました。F階の鉄筋はこのStbFoundationColumnに設定されている鉄筋で取込まれます。	○					
110	外部入出力	ST-BRIDGE入力で、鉄骨の柱梁について伏図にも取込む指示を追加しました。(変換画面のその他タブ)	○					
111	外部入出力	ST-BRIDGE入力で、壁開口部の取込に対応しました。建具記号は8文字で取込みします。	○					
112	外部入出力	ST-BRIDGE入力で、階情報は部材のZ座標から算出するようにしました。	○					
113	外部入出力	IFC入力で、1層目に柱がなく、2層目に基礎柱と1F柱を1本で設定している場合、途中で分断してF階に柱を作成するようにしました。	○					
114	外部入出力	IFC入力で、BIMツール側の設定により柱梁が取り込まれない場合がある。	○					
115	外部入出力	IFC出力で、梁、壁開口の出力形式を変更しました。また階高情報も出力するようにしました。	○					
116	外部入出力	IFC入力のプロパティ変換設定画面にて、INIファイルの選択ができるようになりました。	○					

NO.	項目	内容	製品リビジョン						
			15-17	28-31	32	33	34	35	
117	床計算	床の単体拾いにて、同じ通りに対し複数の床がある場合、先頭行の型枠種別を入力すれば、2行目以降はそれを継承するようにしました。	○						
118	梁計算	RC Ver9から変換した物件の梁の型枠数量が、RC Ver9と一致しない場合がある。	○						
119	梁計算	基礎取合補強筋が算出されないことがある。	○						
120	パラベット計算	「計算処理に失敗しました」となる場合がある。	○						
121	計算条件設定	鉄筋名称に入力した名称が保存されない時がある。	○						
122	雑拾い	雑拾いの鉄筋名称に半角カナ文字を入力できるようにしました。	○						
123	土工事	独立基礎の捨てコン厚を0mmにすると、基礎梁の「捨てコン止型枠」が計算されない現象を修正しました。	○						
124	壁計算	計算条件「スリット計算で開口接続がなしでも減する」が機能するように修正しました。	○						
125	梁拾い	梁拾いの単体拾いで、部位をブランクにした場合、計算エラーにならない現象を修正しました。	○						
126	床計算	床リストその他鉄筋の本数長さ欄に、XYTの記号を使用してもエラーとならないよう修正しました。	○						
127	柱計算	●計算条件設定 - フープ・スターラップ - 柱梁の機械式接手部のフープ°、スターラップ°調整をすると設定した場合に、フープ中子筋についてもヒ°ッチ1/2、径1サイズ°タ°ウンで計算されるように修正しました。	○						
128	ログイン	WEB認証画面やログイン画面で「オブジェクト参照がオブジェクトインスタンスに設定されていません。」のエラーがでないように修正しました。	○						
129	Web認証	RC 2.0の契約番号でRC SSの認証が行えるように対応しました。	○						
130	壁式拾い	壁式拾いの一括表示で「形状」欄に「C」「V」「N」が入力できるように修正しました。	○						
131	壁式計算	壁式計算で、補正指示=R 形状=C のとき、入力した定着長さが加算されるよう修正しました。	○						
132	その他	物件一覧画面、メニュー画面によくある質問へのリンクを追加しました。	○						
133	土工事	土工事の科目別編集画面で、名称や規格に全角17文字以上入力できてしまう問題を修正しました。	○	○					
134	土工事	土工事汎用拾い画面で、別の土工事汎用拾い画面への行コピー、行挿入コピーをできるようにしました。	○	○					
135	土工事	土工事がF階以外もあり、それぞれの階に礎版がある場合、最後に全計算した階の礎残の根伐しか入力されない問題を修正しました。	○	○					
136	土工事	土工事のすきとりで「床記号」「礎版記号」を入力して保存するとクリアできなくなる問題を修正しました。	○	○					
137	土工事	あるパターンで、土工事伏図取込でエラーとなる問題を修正しました。	○	○					
138	壁計算	壁基準の「開口見込型枠」で「壁と接する部分のみ計測する」にした場合、壁と接していない部分が計算される問題を修正しました。	○	○					
139	壁計算	下接続の壁記号チェックで、同じ階に記号が存在するかチェックしている問題を修正しました。	○	○					
140	雑資料拾い	雑資料リストに未登録の記号を雑資料拾いで使用してもエラーにならない問題を修正しました。	○	○					
141	伏図	記号に*がある場合、3Dで梁が表示されず、根切り新規でエラーとなる問題を修正しました。	○	○					
142	伏図	テキスト文字サイズが100%より大きい場合、伏図編集を繰り返し行っているとシステムが終了してしまう問題を修正しました。	○	○					
143	外部入出力	IFC入力で、柱記号SC1がC1でリスト作成されてしまう問題を修正しました。	○	○					
144	拾い画面	拾い画面の一覧表示で、通り名に半角の・を使用した場合、以降の文字が表示されない問題を修正しました。	○	○	○				
145	断面リスト	断面リストの記号一覧で、コピー実行時にエラーとなる問題を修正しました。	○	○	○				

NO.	項目	内容	製品リビジョン					
			15-17	28-31	32	33	34	35
146	柱計算	柱の形状で円形を選択中に拾いの型枠種別に入力があると数量が2倍で計算される問題を修正しました。	○	○	○			
147	柱計算	計算条件設定において、フープ・スターラップの設定が関係のない柱にも影響を及ぼしてしまう問題を修正しました。	○	○	○			
148	床計算	短調逆転指示に入力がある場合でも、径は交換される一方でピッチが交換されないという問題を修正しました。	○	○	○			
149	床拾い	床リストに未登録の拾いが存在する場合でもチェックエラーとならない問題を修正しました。	○	○	○			
150	壁計算	壁基準の開口部見込型計測を「無条件で四辺計測する」にした場合でも計算されない問題を修正しました。	○	○	○			
151	床資料計算	床資料拾い・礎版資料拾いの符号に“-”を入力した場合に、コンクリート・鉄筋の数量が減算されず加算される問題を修正しました。	○	○	○			
152	伏図	階基準の範囲外の階をリストに入力した状態で伏図作成・取込を行うとエラーが発生する問題を修正しました。	○	○	○			
153	伏図	伏図取込条件設定において、上蓋型枠が条件を満たしているにも関わらず、指定した型枠種別にならない問題を修正しました。	○	○	○			
154	土工事	増打入力時に梁のGL下コンクリートが正しい値にならない問題を修正しました。	○	○	○			
155	雑拾い	鉄筋名称に半角記号を入力できるようにしました。	○	○	○	○		
156	印刷	記号別チェックリストで階数が多い場合に表示されない不具合を修正しました。	○	○	○	○		
157	土工事	根切新規作成をクリックして“キャンセル”を選択した場合、塗りつぶし色を保持するか初期化するかを選択可能にしました。(土工事環境設定画面に選択チェックを追加)	○	○	○	○		
158	土工事	土工事伏図取込で、基礎の根切り深さがマイナスの場合に0で取り込まれてしまう不具合を修正しました。	○	○	○	○		
159	KBL	KBL認証をTls1.2に対応しました。	○	○	○	○	○	

※ 上記○印がお使いの製品バージョンによって発生する現象になります。

製品バージョンは、プロジェクト・物件一覧画面のオプションより確認することができます。



インストール後は、1.0.0.35になります。

※ 今回の修正版をインストール後、上記現象に該当する物件を再計算すると、前回の結果と異なった数量が算出される場合があります。